

# 新型コロナワクチン接種情報

●問い合わせ先 市新型コロナワクチン接種コールセンター ☎321-6547



市ホームページ



市LINE

- ・予約に関する案内などを市LINEでお知らせしていますので、事前の登録をおすすめします
- ・予約受付開始日をLINE・ホームページ・データポンで確認することができない人は、コールセンターまでご連絡ください。予約が開始されたらコールセンターから電話でお知らせします

従来株とオミクロン株に対応した、2価ワクチン(オミクロン株対応ワクチン)の接種を開始しています。現在実施している接種券発送などについては次のとおりです。

## ▼接種ワクチンと接種券発送・予約フロー

接種の状況	接種券発送・予約	接種ワクチン
1・2回目未接種(5歳以上)	送付済みの1・2回目接種券で予約・接種できます	従来型ワクチン  オミクロン株対応ワクチン ※前回接種から3カ月後に接種できます 現時点での、オミクロン株対応ワクチン接種は1人1回までです。
3回目未接種(12歳以上)	送付済みの3回目接種券で予約・接種できます	
3回目接種済み(12歳以上)	送付済みの4回目接種券で予約・接種できます	
4回目接種済み(12歳以上)	<b>5回目接種券などを発送しています。</b> 同封の予約方法をご確認ください	

## 小児(5～11歳)の追加接種(3回目)を実施しています

接種ができるのは、2回目接種から5カ月経過後で、使用ワクチンは小児ファイザーです。対象者へ接種券をお送りしています。接種を希望する人は、同封のチラシで予約方法などを確認してください。

## ワクチン接種後に転入した人で追加接種(3回目・4回目)を希望する人

接種券発行の申請が必要です。申請後、接種券をお送りします。

- ▶申請方法 窓口・郵送
- ▶申請場所 市ワクチン接種コールセンター

## 乳幼児(生後6カ月～4歳)の接種を実施しています

対象者に接種券などをお送りしていますので、接種を希望する人は、同封のチラシで予約方法などを確認してください。

県民広域接種センターでも接種ができます。夜間や休日接種を希望する人、早めの接種を希望する人は、ぜひご利用ください。

## ノバックス接種を希望する人

3～5回目の接種も可能となりました。詳しくは市新型コロナワクチン接種コールセンターへお尋ねください。

## 1・2回目未接種の方は早めの接種をお願いします

1・2回目接種に使用している従来型ワクチンは、年内で、国からの供給が終了する予定です。未接種の人で接種を希望する人は、早めの接種をお願いします。



▲県ホームページ

「オミクロン株対応新型コロナワクチン」  
**県民広域接種センター**

インターネット予約受付中

受付期間 令和4年10月12日(水)～令和5年1月末まで(予定)

会場 **グランメッセ熊本**

対象者 初回接種(1・2回目接種)が完了した18歳以上で、最終の接種から3カ月以上経過した人(3～5回目接種)

ワクチン **モデルナ社ワクチン**  
(オミクロン株と従来株に対応した2価ワクチン)  
平日は、夜間接種を実施中!

平日 18:00～21:00 土日・祝日・祝日 12:00～18:00

熊本県

ワクチン接種は任意であり、強制ではありません。感染症予防効果と副反応のリスクについて確認し、接種をお願いします。また、周りの人などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりすることがないようにしてください。

# 令和4年度 合志市 総合防災訓練

●問い合わせ先 交通防災課  
☎(248)1555

10月23日に、合志風の森小・中学校で総合防災訓練を実施しました。この学校は本年度から避難所に指定され、約千人の児童生徒が、震度6弱の地震および地震に伴う火災発生を想定した訓練に参加しました。

災害リスクの少ない本市ですが、子どもたちは将来どこで生活するかわかりません。防災意識の啓発はもろろんのこと、情報伝達や避難所運営の手伝いなど、子どもでもできることを、大人たちが志を合わせて教えることができました。

**現地災害対策本部訓練(写真①)**  
学校の大会議室に現地対策本部(訓練コントロール室)を設置しました。本部では電子黒板で校内の様子を見ることができ、訓練の進行状況を確認しました。

**車両避難者受付訓練(写真②)**  
避難者役が、車両避難所入口で配布された二次元コードをスマートフォンで読み取り、避難者情報を自身で報告する検証を行いました。今後は避難所受付でも活用できるか検証します。



## 災害救助訓練(写真③)

県防災消防航空隊の防災消防ヘリ『ひばり』により中島教育長・角田小学校長を要救助者として学校屋上から救出しました。その状況をグラウンドに避難した子どもたちに見守ってもらいました。

## 地域の関係機関などと連携した訓練

・小学生  
児童約700人が、18種類の体験や展示施設をスタンプラリー方式で回り、普段の学校の授業では体験することができませんでした。

(写真④)自衛隊によるロープ訓練  
⑤けむりハウス体験 ⑥応急担架訓練 ⑦消防による救急救命体験

・中学生(写真⑧)  
生徒約300人は、1～3年混合の7～8人のグループに分かれ、避難所運営ゲーム(HUG)で避難所運営の疑似体験を行いました。昨年誕生した中学・高校生防災士を含む40人の市防災士の補助を受け、有意義な避難所運営体験ができました。

・臨時FM局の運営(写真⑨)  
九州総合通信局の協力で、災害時に臨時で開設されるFM局(ラジオ)を合志市一円に発信・検証しました。情報委員会の生徒が、避難所運営ゲームの様子をリポートし、生徒へインタビューを行いました。